

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [23] 東京都台東区立みのわ高齢者在宅サービスセンター

指定管理者の名称 社会福祉法人台東区社会福祉事業団 指定期間 H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。
(2) 類似施設の管理実績	あさくさ・やなか・うえの高齢者在宅サービスセンター
(3) 経営状況	[社会福祉事業会計] (22年度決算ベース) 歳入2,679,635,858円, 歳出2,542,831,771円, 収支差額13,680,487円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区三ノ輪1-27-11
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(5) 規模	延べ床面積 9,617㎡のうち2,002㎡ 三ノ輪福祉センター内、鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち3・4階の一部、デイホーム、認知症デイホーム、機械浴室など
(6) 人員体制	18名 内訳…事務員(1)、介護職員（常勤5、非常勤10）、看護職員（2）

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	①通所介護サービス(送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・栄養ケア・口腔ケア)、②介護予防通所介護サービス(送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア・アクティビティ等)③ホームヘルプサービス(身体介護、生活援助、介護相談、介護予防訪問介護)(定員：一般デイ：40名、認知デイ12名)
(2) 自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料(22年度から)	41,410,000	30,259,000	7,244,000	2,114,000	16,509,000
	料金収入等	177,373,000	164,052,000	192,625,000	234,122,000	201,585,000
	管理経費	218,783,000	194,311,000	199,869,000	236,236,000	218,094,000
決算	委託料(22年度から)	26,056,883	13,247,453	7,244,000	2,114,000	16,506,810
	料金収入等	181,523,702	207,981,188	228,350,487	260,890,915	240,438,053
	管理経費	189,035,038	183,148,991	189,066,818	235,960,145	198,659,170
	収支	18,545,547	38,079,650	46,527,669	27,044,770	58,285,693

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数	日	311	311	311	312
定員（一般デイ）	人	40	40	40	40
定員（認知デイ）	人	12	12	12	12

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率（一般デイ）	%	95.0	84.6	93.8	97.9
利用率（認知デイ）	%	90.0	82.7	84.7	80.5

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

サービスの向上に努めながら、更なる充効率的な経営に向け、経費削減等を継続して取り組んでいく。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	97.9%と利用率を伸ばし高い利用率水準を維持しており、良好な事業運営が行われている。
(2) 施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理において、概ね適切に維持管理が行われている。
(3) 利用者の満足度	A	利用者の満足度調査では、概ね高い評価を得ている。また、利用率では、認知デイにおいては利用率の低下が見られるが、一般デイにおいては利用率の向上が見られ、デイサービス全体での利用率が向上している。
(4) 歳入歳出	A	委託料の増加はみられるが、管理経費の見直しが行われており、収支についても対前年を上回る成果あげている。今後は利用料金収入を増額する工夫や収支の更なる改善に取り組んでいく。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

サービスの向上に努め、適切な事業運営が行われており、利用者からの評価も概ね良好である。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

より一層高水準のサービスを提供し、利用者から高い評価を得られる施設運営を目指していくとともに、運営経費の面で更なる削減を図っていくなどの経営努力を継続していくことが求められる。